

終了報告書(様式5)	2017年度アジア生協協力基金一般公募助成事業による活動・事業
------------	---------------------------------

団体名	特定非営利稼働法人スバ・ランカ協会
代表者名	大岩 碩
助成基金交付額	90万 円
申請事業名	サバラガムワ州ケーゴール県の農山村での1州1品運動の第一歩事業
実施期間	2017年4月1日～2018年2月28日

\*大きな計画変更が発生したときは、助成事項の変更に該当します。至急、事務局にご相談ください。

\*6月発行の「アニュアルレポート」に掲載します。文章での報告形式で記述してください。字数の制限はありませんが、簡潔な記述をお願いいたします。枠が足りない場合は次頁以降に拡張していただいてもかまいません。

\*写真を報告書(様式4)に貼り、各写真にキャプションを付けてください。また、写真と本報告書とで相互参照ができるように、本報告書の該当個所に注記(写真No.)を加えてください。

### 活動・事業報告 (団体としての全体報告活動及び助成金を対象とした活動について記入してください。)

【活動・事業報告】(※これまでに進めたことを日時とともに具体的に記載してください。)

2017年5月23日、日本からスリランカのカウンターパートの銀行口座に90万円を振り込んだ。アイスクリーム製造機械を直ちに買う予定であったが、農業書から機械価格の半額を補助するとの連絡があったため、補助金がでるまで待つことにした。その補助金額を貸付金の増額に回した。

8月5日、牛乳生産者協同組合の会員9名に貸付を行った。内、牛舎建設が3名(写真No.1 & No.2)、乳牛の購入が4名(写真No.3)、牛乳製品製造のための道具の購入が2名であった。

アイスクリーム製造機械の購入に関する政府補助金(半額補助)が支給される予定が延期され、補助金は得られず、10月～2018年1月までの間、製造機械は購入できなかった。2018年2月10日、政府からの補助金の支給はないと判断し、予算内で機械を購入することにした。2月12日、家畜研究所からの助言に従い、ケーキ攪拌機を買い(写真No.4)、アイスクリーム製造に使用することにした。

2月13日、アイスクリーム製造を開始した。1日40Lの牛乳を使う。まず、攪拌機で攪拌し(写真No.5)、冷蔵庫に入れる。2時間後に取り出し、2回目の攪拌を行い、冷蔵庫に入れる。これを2回繰り返す。攪拌を計4回行い、冷蔵庫にのべ6時間入れておく。その後、攪拌したもの(アイスクリーム)を1Lの容器にいれ(写真No.6)、6時間冷蔵する。これで60Lのアイスクリームができる。

2月16日、トラックと保冷库を購入した(写真No.7 & No.8)。保冷库をトラックに積載して使用する(写真No.9)。

2月17日、近隣のおよそ24軒の小商店にアイスクリームを配達し、売った。日曜日と満月の日は作業を休む。

2月23日、家畜研究所から講師を招き、研修を行った(写真No.10)。牧草が少なくなる時期にどのようにして餌を確保するかがテーマであった。わらをえさにする方法を実演してみた(写真No.11)。

2月28日までに、780Lのアイスクリームを製造し、その内、730Lを売った。

牛乳は会員が夕方と朝に搾乳し(写真No.12)、チャミット宅の製造所(写真No.13)に持ってくる。それをスタッフが計量し、比重を計り、記録する(写真No.14)。持参した会員への支払いは2週間ごとにまとめて行う。集めた牛乳はヨーグルト、ミルク菓子、アイスクリームの製造した後も残る。これらの残りをアイランド牛乳会社にうる。社員が集めに来る(写真No.15)。今後、機械によるアイスクリーム製造が順調に続けられれば、会社に売ることなくなるだろうというのがチャミット氏の考えであった。

### 【助成金を受けての成果とその評価】

貸し付けに関して、現地の判断で増額したが、これはよかった。貸し付けを受けた人々がありがたいと感謝していた。組合ができた当初は、チャミット氏が居住するアルピティヤ村で会員は4軒だけであったが今では14件に増えている。全体としても38軒に増えており、特に、若い人が牛乳生産を事業としてとらえるようになってきていると思う。紆余曲折はあったが、とにもかくにも機械によるアイスクリーム製造が開始され、今後、アイスクリームを含めた乳製品の製造販売が順調に進めば、ますますそうした事業感覚の若者が増えるであろう。組合長の息子もIT会社に勤める傍ら牛乳生産を手伝うようになったそうであり、牛乳を持参する若者(写真No.16)もよく見かけるようになった。今後は組合独自の牧草地、牛舎、乳製品製造所を確保し、事業規模を拡大し、他地域に新たに牛乳生産者組合を創設できるようにし、カーガッラ県、サバラガムワ州に広げて1州1品運動につなげていけるように努力しなければならない。